

## 子ども達は「致芳の宝」!

— 特集 —

ビヨンド  
~ Beyond ちほう 2020 の  
成果と課題を本音トーク ~

令和3年4月満開の桜の下で記念撮影♪ 撮影鈴木亮氏（致芳小学校地域学校協働活動推進員）



### ごあいさつ

致芳コミュニティセンター館長 横澤 敏

木々の蕾も日に日に大きくなってまいりました。長かった冬から解放されて桜前線が間もなく訪れようとしています。しかし、なかなか新型コロナの感染の不安からは解放されず、出口の見えない日々が続いています。さらにロシアによるウクライナ侵攻というあまりにも悲惨なニュースを見聞きするにつけ、目の前の何気ない毎日の生活が、いつもどおりに送ることができるということがどんなに幸せな事なのかということに、改めて考え思い知らされます。何もできないでいる無力感を感じつつ、1日も早くこの現状が打破されることをただただ祈るばかりです。

さて、令和3年度の後半事業として、年が明けても何かと制限が続くなかではありましたが、古着リメイクの「ほだき教室」、「手編み教室」、3年ぶりに開催した「ちほうSNOWフェスタ2022」、名人から学ぶ「わらじづくり教室」と、かなり内容の濃い事業を展開することができました。また、今年度の「明日の致芳を語る会」については、新型コロナウイルス感染予防対策として形式を変更し、代表によるトークセッションを開催しました。テーマを「地域と教育」と題し、令和2、3年度の2ヶ年にわたり、地域と学校とが一体となって学校支援や地域づくりを進めてきた「Beyond(ビヨンド)ちほう2020」の成果と課題について語り合いました。このたび、その模様についてお知らせいたします。

また、新年度からは市内コミセンの法人化に伴い、一般社団法人長井市コミュニティ協議会 致芳コミュニティセンターとなりますが、これまで積み上げてきた地域とのかかわりや取り組みに大きな変わりはありません。地域の特色を活かしながらさらにより良い事業を展開してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

